



い～ねだより

2025年9月2日

認定 NPO 法人じゃんけんぽん
企業主導型保育 い～ね保育園

基本理念

『たくましく生きる力』

保育目標

『自ら感じ考え自分と周りの人を大切にする心を育てます』

『基本的生活習慣を身につけ、心身ともに調和のとれた幼児を育てます』

『地域の人とのかかわりやふれあいを大切にし、かけがえのないつながりを創っていきます』

『一人ひとりの子どもを十分に愛し、子どもの個性を受け止め、伸ばしていきます』

9月のテーマ

『ワクワクをみつけよう！』

『どんなあなたもい～ね！ どんな私もい～ね！』

い～ね保育園で大切にしている事があります。『どんなあなたもい～ね！』です。

存在を認める心です。『認める』は自分に対しても大切だと思います。皆さんはどうでしょうか？

最近目にした本に『子どもの時の自分を迎えてあげる』というのがありました。

例えば上司に注意をされて、自分をダメな人間と感じてしまう人がいるとします。

その人は子どもの時に失敗をすると親に「役立たず」と言われて育ちました。それで大人になっても『上司がそう思う』と勝手に感じてしまします。そんな時、子どもの時の自分を迎えて行きます。「失敗した時に気持ちに寄り添ってほしかったね。でも、この人はあなたの存在を否定しているわけではない、ただ一部分を指摘しただけ。次から気をつけければ済むことだよ」と。



否定されていても満たされなかった感情が影響することもあるそうです。親に甘えたいと思ったとき、忙しそうという空気を感じると『甘えちゃいけない、迷惑かけちゃいけない』という感情を抱きやすくなります。家庭環境が悪かったという事ではなくて、繊細な子どもの心は何かしら影響を受けているということです。

『子どもの時の自分はどうしてほしかったのだろう？』と気持ちに向き合うことで、今の自分の感情を冷静に分析できるようになり、抱えている悩みや生きづらさを解消することができます。嫌だ！嫌い！の反発の気持ちにも耳を傾け、肯定することでそこにただ『在る』ということを受け入れやすくなるそうです。

全ての気持ち、私の中の在る、を肯定していいのだと思います。誰もが『どんな私もい～ね！』です。

そして今、まさにあらゆる環境に影響を受けて感受性を働かせている子ども達。大人も子どもも今から気持ちを迎えて行く練習してみませんか？何か悩んだとき、なんでかな？どうしてほしかった？と一緒に気持ちを迎えて行きながら、悩むあなたもい～ね！と明るく受け入れていく練習です。



『どんなあなたもい～ね！』『どんな私もい～ね！』

大人も子どもも『い～ね！』の心で過ごしたら悩みも減って毎日が少しづつ変わっていくかもしれませんね。